

国際資源研究科 アセスメント・ポリシー

国際資源学研究科は、以下の指針をもとに、学生が修得した知識、技能ならびに思考力、表現力、意欲を多面的に評価します。

1. 評価の内容

講義科目や演習科目では、知識とその応用力を評価します。実験・実習科目では、技能、思考力、表現力、意欲についても評価します。

2. 評価の方法

知識とその応用力に関しては、筆記試験や課題レポート等により評価します。技能や実習、演習は実技、実践、レポート、プレゼンテーション等を基に評価します。

3. 評価の基準

筆記試験、実技試験は数値化して達成度を評価します。実習評価では、可能な限り数値化できる評価法を用いて達成度を評価します。科目の成績は、次に示すレターグレード（A, B, C, D（不合格））で評価します。

レターグレードと評点、及び評価基準表		
グレード	評点（100点満点）	評価の基準
A	80点以上	基本的な目標を十分に達成している
B	70点以上、80点未満	基本的な目標を達成している
C	60点以上、70点未満	基本的な目標を最低限度達成している
D	60点未満	基本的な目標を達成していない

4. 再試験および追試験

定期試験で、所定の到達目標に達しなかった場合は、再試験を行うことがあります。また定期試験を何らかの正当な事由で受験できなかった場合は、追試験を行うことがあります。

5. 情報の開示

成績評価の情報を学生に公開します。また、個々の成績評価に関し、学生からの照会に応じる体制を整備します。さらに、修了要件の詳細は別に定めて明示するとともに、その合否は学生に通知します。

6. 点検と改善

評価方法の選定と基準の設定にあたっては、その妥当性、客観性ならびに実現可能性を考慮し、教育学生委員会にて定期的に見直しを行います。